



明日に架ける橋

進路だより第6号 1, 2年生用
2019/7/17
兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

□夏休みをどう過ごすか□

1 計画を立てて、実行する

夏休みなどの長期休暇は、普段の学校生活がある毎日よりも、自分の計画通りに生活ができる時間が圧倒的に多いです。ですので、積極的に計画をたて、自分の為になる休暇を過ごしましょう。計画の立て方としては、「無理がない、無駄がない」ことを目標にしてください。計画を立てるとなると、すごく張り切って過密なスケジュールを立てたり、現実的に継続が難しいスケジュールを組んだりする人がいますが、それでは続きませんので、自分にとって「無理のない」スケジュールを立てましょう。しかし、「無理のない＝自分に甘い」スケジュールにならないように注意して欲しいと思います。

さて、勉強計画の立て方として、大きく2種類のパターンがあるのではないのでしょうか？

①勉強内容で予定を立てる。

②時間で区切って予定を立てる。

この2パターン、それぞれにメリットデメリットがあります。例えば①の場合は、国語の場合、「古典文法書のP〇～P〇までの助動詞の問題を完璧に覚えるまで勉強する」と言ったように、あくまで内容重視です。適度に休憩はとるものの、計画が消化できなければ、その科目をずっと行います。メリットは徹底的に行うことから、やったことの定着や深い理解が得られます。さらに達成感も得られます。しかし、デメリットとして、バランスよくどの科目もということの場合は場合によっては難しく、ある教科に偏ってしまうということです。次に②の場合。この場合は、バランスという点では非常によい計画の形かと思います。また、見通しが立ちやすいです。しかし、デメリットは内容に関係なく時間は過ぎるので、やったつもりで実は内容はあんまり頭に残っていないということがあります。

どちらを選ぶかは、みなさん次第ですが、基礎が不安な人は①の方がいいのではないのでしょうか？とにかく自分としっかり相談をして、計画的に勉強をしましょう。

2 課題を「こなす」だけにならないように

さて、夏休みに際して各教科から夏課題が出ていることだと思いたいますが、みなさんはどのように課題に取り組みますか？自分の知識の定着のために丁寧に計画を立てて取り組みますか？それとも、夏休みの後半に、答えを写したり、やっつけ仕事で課題を終わらせたりしますか？

わかっていることと思いますが、課題はきちんと行えば、自分の実力アップにつながります。新しく問題集を自分で買わずとも、用意された課題をきちんと行うことで補えます。また、各教科の先生方がみなさんに必要だと思って課しているものですので、意味のないものではありません。しかし、その意味をふまえずに、こなすだけで終わってしまうと大して意味の無いものになります。意味のある課題とするかしないかはみなさん次第です。ぜひ、自分にとって意味のある課題にして欲しいと思います。

3 主体的に能動的に

夏休みを終わった段階で一番いけない状態が「やったつもり、やった気になっている」です。夏休みは、学校でも補習がありますし、塾や予備校でも補習があります。決して「受けているだけ」にならないように。毎日補習の復習を行い、覚えたことを定着させていってください。自分は今しっかり取り組んでいるかを絶えず自分で振り返ることで。周りを見すぎると、ペースを崩しますので注意しましょう。特に、塾に行っている人は各自の払った受講料以上のものを得られるように、塾を利用しましょう。

□ある「予備校調べ」より□

ある予備校調べで、『保護者の心構え』というものがありませんので、紹介しておきます。生徒のみなさんは保護者の方に見てもらってください。

大事なキーワード

『つかず、はなれず、さりげなく』

です。がんばるのは子ども、親が頑張りすぎないことが重要だそうです。

次に、「受験生に対してこれはまずい」をいくつか紹介しておきます。

- ・過度の放任（もっと知っていて欲しい、関心を持っておいて欲しい）
- ・「もう〇〇大学でいいから」という発言（子どもより先に親がくじけてしまう）
- ・兄弟・友人・知人との比較

などがあります。大切なことは家族でベクトルを合わせることです。高校、家族、本人で強力なタッグを組んで、進路実現につなげましょう。

□進路指導部長より□

1 情報は力なり！

何においてもそうですが、情報収集というのは、うまく事を運ぶためには不可欠な事柄です。自分でしっかり情報収集をしましょう。その一つの方法として、オープンキャンパスなどがあります。パソコン上では見ることのできない、学校の雰囲気や学生の様子なども見ることができます。自分で足を運び、自分で様々な情報を得るようにしましょう。

2 家族でしっかり話し合いましょう

例えば、進路に際して家から通える大学・短大・専門学校から選ばなければならない場合と、下宿も可能で全国どこからでも進路先を選べる場合とでは全く条件が変わってきます。当然、費用面にも違いがあります。家族の協力がいづれにしても不可欠になります。この夏休みを利用して、一度話をしてみましょう。

3 「確かな学力」を身につけましょう

授業において学んだことをしっかり定着させる努力をしましょう。そのために必要なことは、課題であれ、しっかりと取り組むことです。苦手科目とも向き合って、学力向上を目指しましょう。学校は、土日祝日以外は空いています。先生もいらっしゃいますので、分からないことがあれば質問に来るなどして学習に取り組みましょう。